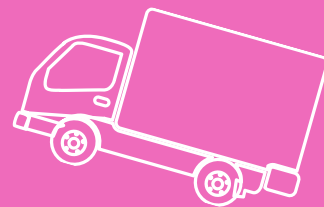


広報委員長が行く！



(株) トラスト・ウィン

代表取締役：星 恵子 氏



貨物運送と引っ越し業をされている、株式会社
トラスト・ウィンさんへインタビューに行っ
てきました！

「生まれてから亡くなるまで、
亡くなったあとも」

付き合えるようなトータルケアを目指している
星さんは、堀江広報委員長とは法人会の役員同
士として出会う前に、お客様として星さんとはご
縁があったようです。

2024.6.11 取材



堀江さん

実は星さんとの初めては法人会じゃないですよ。前に引っ越しのほうでお願いしたことがあって、そのあと法人会の理事会に行ったら、そこにいらっしゃって。

そうなんです。それで声かけてくださって、すごくビックリして。えーって。



星さん

堀江さん：福祉の方も引っ越しの方の関係でされていたんですよね？
正吉苑って言ったっけ？

星さん：そうですそうです。正吉苑さんは狛江市中心に介護施設をやっているのですが、うちで介護職員の養成学校をやっていた時からのお付き合いです。

堀江さん：あ、そうなんですね。

星さん：それで11年前から5年ぐらいやってたのですが、その時に実務者研修、実務者講習っていう6ヶ月のコースをやっていて、この中で2週間デイサービスとか行って、要はお勉強させてもらうんですよ、生徒さんたちが。それで正吉苑さんとかいろんなところに声をかけて、調布だと爽爽荘さんとかに受講生を見てもらってたんです。とくに正吉苑さんは結構な頻度で行かせていただいていたいて、その時ケアマネさんたちとお知り合いになって。

堀江さん：なるほど。

星さん：1番最初にその介護職員を始めたのも、都内の生活保護さんの引っ越しもやっているんですよ。それはもうずっとやっていて、ただ、区の要請で梱包は会社のほうではいけないんですけど、高齢者の方が多くて.....でもヘルパーさんが全然足りていないということが分かって、ヘルパーさんの学校とかで育てたほうが良いな、って。

堀江さん：それでヘルパーさんの養成所とか講座をやっていたということですか？

星さん：そうです。雇用保険が原資になっている職業訓練校6年くらいやっていたのですが、最初の頃は仕事、就職ができない人が多かったんです。そのうち（ヘルパーの）資格を持っていなくても雇用する施設も増えてきて受講する人も減ってきたので、じゃあもうやめようかな、と。その学校をやっていた時に、どちらかというところとグレー寄りというか、今で言う発達障害なのかな？と思うような人が受講していて、じゃあ小さい子供のころから何かフォローしてあげれば過ごしやすいかなっていうのがあって、その同じ場所で放課後等デイサービスを始めて。

堀江さん：放課後等デイサービスっていうのは、そういう発達障害の方が多いんですか？

星さん：はい。

堀江さん：今もまだやられてる？



星さん：それはもうやめちゃったんです。ここの事務所に引越して来て、固定費もすごく上がったのと、両方を見るのはすごく大変だったので。結局5年やったのかな？

向こう（デイサービス）は赤字だったんです。子供たちもいるのでそんな簡単にやめられないと思って、5年頑張ったんですけど、ここに引越してきたのもあってそろそろ潮時かなと思って。

堀江さん：そういうところで福祉関係の出会いがあったんですね！でも、その流れが、福祉関係に強いという会社の強みになっている。

星さん：どうでなんでしょう。うちは引越を担当している人たちと、毎日同じところに行って配送しているルートの人たちと2チームあるんです。引越の人達が大変な時はルートの人たちが引越に応援に入るって言ってくれるし、ルートの人たちが具合悪くなったりしたら引越の人たちがルートに入ってくれるとか、連携はすごい取れています。

うちのドライバーはめちゃくちゃ優しいんですよ。不愛想な人もいるんですけど、優しいんです。ドライバーの中にも、ヘルパーの資格持っている人もいますし。なのでご年配の方からは、めちゃくちゃ好かれます（笑）。

そのメンバーが移転とか、事務所の引越とかそういうのも全部やっているのです。

堀江さん：そうなんですか。

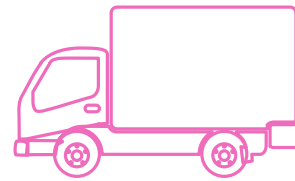
星さん：生活保護受給者の方の引越は、10年前は高齢者の人が多かったんです。

堀江さん：障害があるとかなのかな。

星さん：どうなのでしょう？ でも今はいろんな人がいて。若い人も多いです。

堀江さん：でも、やっぱりそういう生活の方の（引っ越しとか片づけを）やられてると、こういう福祉系のことにいろんな社会的ニーズを発見したりされて、そっちが広がっていったんですね。でも結構いろんなことされて、チャレンジャーですよ。

星さん：もう今からはチャレンジしないんですけど。（笑）落ち着いたので。



堀江さん：最初は一般企業で働いていて、トラックを運転したいからということで（仕事を）変えられたんですよ。転職というか。

星さん：そうですね。もともとは他のところで働いていて、デスクワークの仕事をしていたんです。免許は18の時に取っていたのですが。

堀江さん：でも、そもそもなんで4トントラックやろうと思ったの？

星さん：そもそもは、うちの父が運送業をやっていて。私は違うところで仕事していて全然やってなかったんですけど、20歳ぐらいの時にまず（お父様の会社の）ドライバーが休んで、その車が動かないと1憶から損をしそうな時があったんです。

星さん：でもそれは困るからということで働いていた会社を休んだんです、（父が）頼むから。その時、今と違って荷台が運転席より出ている昔の2tロングトラックだったんですけど、1番最初にそんなのに乗らされてすごい怖い思いをして、もうこれやらないって言ってたんですけど、またしばらくして4tに乗れって言われて、また自分の仕事を休んだんですよ。それでそんなの勤めてる会社にご迷惑じゃないですか。だから辞めて、トラックに乗ることにしたんです。それが22歳ぐらいですね。

堀江さん：そういうことなんですね。

星さん：それで父とは合わなくて、この会社を始めたんですよ。平成16年に作ったんで、本格始動が平成18年です。それから父の会社が立ち行かなくなった時に、前の会社ですっと一緒にいた従業員は、こちらの会社に来てくれたんです。

堀江さん：えー、じゃあ辞めないで来てくれたんだ。前からいた人たちとの齟齬とかなかったの？

星さん：別になかったですね。



堀江さん：ちなみに、ルートもしてるって言ってたけど仕事の比重としては引越しがメインなんですか？

星さん：比重で言えばルート配達の方が3分の2くらいですかね。残りの3分の1で引越しとかスポットの運送とかです。ルートの仕事が決まってて、そこに引越やスポットの仕事が入ってくるって感じです。

星さん：うちは1つのものに特化してなくて、色々な商品を扱うお客様がいて50件ぐらいのお客様がお仕事を依頼してくださるんです。個々のお客様の忙しい時期が違って、仕事
が途切れる事がなくご依頼をいただいて回っているので、
すごくお客様に恵まれている感じですね。

堀江さん：なるほど。ちなみに最近はおみ屋敷みたいなのも増えているって言いますが、そんなのも結構ありますか？

星さん：そうですね、今とっても多いみたいで。ただ、おみ屋敷
というか、年配の方が自分で片付けられなくなって、とか介護ベッドを入れるのに片づきたい、とかも結構多いですね。そのうちやろうと思っているうちに、自分の身体が動かなくなるんですよ。とくに高いところにあるものって、ほぼ取れなくなっちゃうので、中に何が入っているかもわからなくて、っていう方も結構多いです。あとはもう出て行った子供さんの勉強机がそのまま、もう自分では処分できなくてどうしよう、みたいな。

堀江さん：あ、やっぱり結構いるんですね。

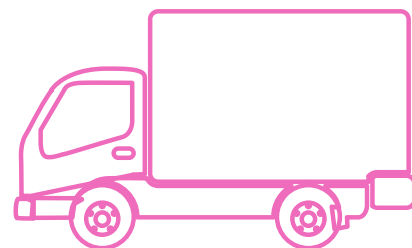
星さん：はい。引越の時にマンションの外に出してあげたり、分別してあげたりとかのお手伝いをしています。私は遺品整理士の資格も持っているので。お客様が結婚したので引越します、子どもが生まれたので引越します、とか亡くなりましたので片付けますとか、そういうサイクルの中で、ヘルパーさんも知ってるので紹介できますよー、っていう（お客様と）ずっとお付き合いできるような会社として生き残っていきたいな、と。

堀江さん：結構そういう物は処分できないですね、自分では。じゃあ（お客様は）その一連の流れで全てやってください、って感じなんですね、引越とか。素晴らしい。そういうの大事ですよ。

星さん：小さい会社なので生き残っていくのに必死ですけど。（笑）

堀江さん：そういう感じなんですね。今日は良い話が聞けて良かった。長い時間ありがとうございました。

星さん：こちらこそ、ありがとうございます。



株式会社トラスト・ウィン

企業様や個人のお客様からの配送・引越に関する多様なご要望にお応えし、どのような商品もお運びいたします。

引越・移転業務も行っていますので、お客様の立場になってきめ細やかなサービスをご提案させていただきます。

軽トラック・ワンボックス・2t平、パワーゲート・2tL 箱、箱、パワーゲート・4t平・ウィング・パワーゲート等
どんなことにも対応できる様、車両も各種取り揃えています。
もちろん、長距離や大型車の手配も可能です。

〒182-0004 東京都調布市入間町2-10-4
小田急線喜多見駅から徒歩10分